

## ②長浜女性人材バンク「かがやきネット」

市では、市政への女性参画を促進するため、長浜女性人材バンク「かがやきネット」を設置しています。登録者の皆さんが市の政策・方針を決定する審議会・委員会などで女性の視点、アイデアを活かして活躍しておられます。誰もがいきいきと活躍できるまちづくりの実現のために、あなたの力が必要です。ぜひご登録ください！



審議会で発言する  
平井 和子さん

【審議会の様子】



【登録できるのは？】  
長浜市内在住 or 在勤の20歳以上の女性  
【何をやるの？】  
市の政策・方針を決定する委員会や審議会などの委員の候補者となります  
【登録するには？】  
人権施策推進課までお問い合わせください



高橋 静子さん



【研修会・交流会の様子】

### 研修会・交流会があります！

「かがやきネット」登録者の方を対象に、楽しみながら学んで、意見交換や情報交換ができる研修会・交流会をおこなっています。平成30年度は、中島みちる先生による研修会「かがやくALL長浜女性のこれから」を開催。グループワークを通してともに学びました。

## インタビュー Interview



滋賀県立大学京楽研究室の学生のみなさんと一緒にかがやきネット登録者の活躍取材しました！

大学生というのは、世の中が必ずしも「ジェンダー平等」ではないことに気づき始める時期です。新聞報道されるような不平等が存在する一方で、地域で活躍されるみなさんの姿は、学生たちに勇気を与えてくださいました。心からの感謝を申し上げます。【滋賀県立大学 京楽真帆子教授】



にぎやかに活動しています

### 取材レポ

みなさんお喋りと練習への意欲が活発でお話を聞いてこちらも笑顔になりました。元気な女性が沢山集まればその地域も元気になると思いました。（滋賀県立大学／田中さん・北川さん）

## 中島一枝さん

### JAレーク伊吹女性部なでしこ

平成28年9月発足。放課後児童クラブ、老人会などさまざまな場所でスコップ三味線の演奏をされています。月に2回の練習、多いときには月に3回の演奏会も。観客の皆さんと一緒に踊ってくれたり、楽しんでくれたりすると、とてもうれしくやりがいを感じるそうです。メンバーは12名。みんなで集まって出し物を考えたり、裁縫が得意なメンバーが衣装を作ったり、お菓子を持ち寄っておしゃべりしたり、にぎやかな時間を過ごされています。楽しみながら、地域貢献されています。

## 服部貴美代さん

### ブックカフェすくらむ（住暮楽）

平成28年6月、木之本を中心に活動している女性グループが集まってスクラムを組み発足。メンバーは12名。季節を感じる地元の食材をおもてなしの心で料理されています。古民家を改装したあたたかい雰囲気店内で月に1度のランチ、土日祝のカフェ営業のほか、セレクトされた本、アーティストさんの作品を楽しむことができます。さらにはお店を貸しきってワンデーシェフになりお料理を提供したり、会議やイベントに使っていただいたりできます。（平日でもOK）地元の皆さんの協力、喜んでいただけるお客様の笑顔があってこそ続けられたとのこと。木之本に「住」む「暮」らすを「楽」しんでおられます。



ぜひおこしくささい

### 取材レポ

様々な人々の縁・絆・支えがあって活動を続けている、というお話が印象に残りました。人と地域を密接に繋ぐ“インターフェース”のような役割を果たしておられる、と感じました。（滋賀県立大学／高木さん）



仲間と共に学んでいます

### 取材レポ

自身の学びが観光支援になるガイド活動。そこに性差は感じられません。むしろ、多様な人の縁こそが活力ある地域を創生する力なのだ、と再認識しました。（滋賀県立大学／小林さん・野原さん）

## 岸田佳子さん

### 奥びわ湖観光ボランティアガイド協会

奥びわ湖の自然、歴史、文化を多くの人に感じてもらいたい。そんな気持ちで、ガイド活動、ツアーの企画、講座・講演会の主催などをされています。現在メンバーは70名ほど。地域について、図書館で調べ、地元の方にお話を伺い、研修会を開催し熱心に学んでおられます。今まで知らなかった地域のことを知ることが楽しく、訪れた方の感動、満足につながることに嬉しいそうです。性別、年齢を超えて「仲間」として出会えたメンバーとよりよい活動のため熱く語りあい、楽しく笑いあって過ごせる時間はかけがえのないもの。男性も女性も共に輝いて活動されています。

## 大橋香代子さん

### 朗読劇グループ「は〜とふるハート」

男女共同参画について長浜弁の朗読劇や寸劇で分かりやすく、楽しく知ってもらおうと平成18年に結成されました。自治会や敬老会、子ども会などの行事で活躍されています。メンバーは4名+ヘルプ2名の計6名。「桃子の鬼退治」ではおばあさんが突然芝刈りに行きたいと言い始め、桃太郎ではなく、桃子が鬼退治に行くといった展開！

笑いの中に男女共同参画への気付きが盛り込まれています。脚本も衣装もセットも全て手作り。見てくれる人の反応を楽しみながら、毎回自分自身の学びにされています。



メンバー募集中です！

### 取材レポ

観客の反応を楽しみに活動しておられる、は〜とふるハートのみなさん。私たちも身近な場所で自分が役立つボランティア活動”をしたいと感じました。（滋賀県立大学／熊谷さん・小林さん・田中さん・鈴木さん・青木さん）